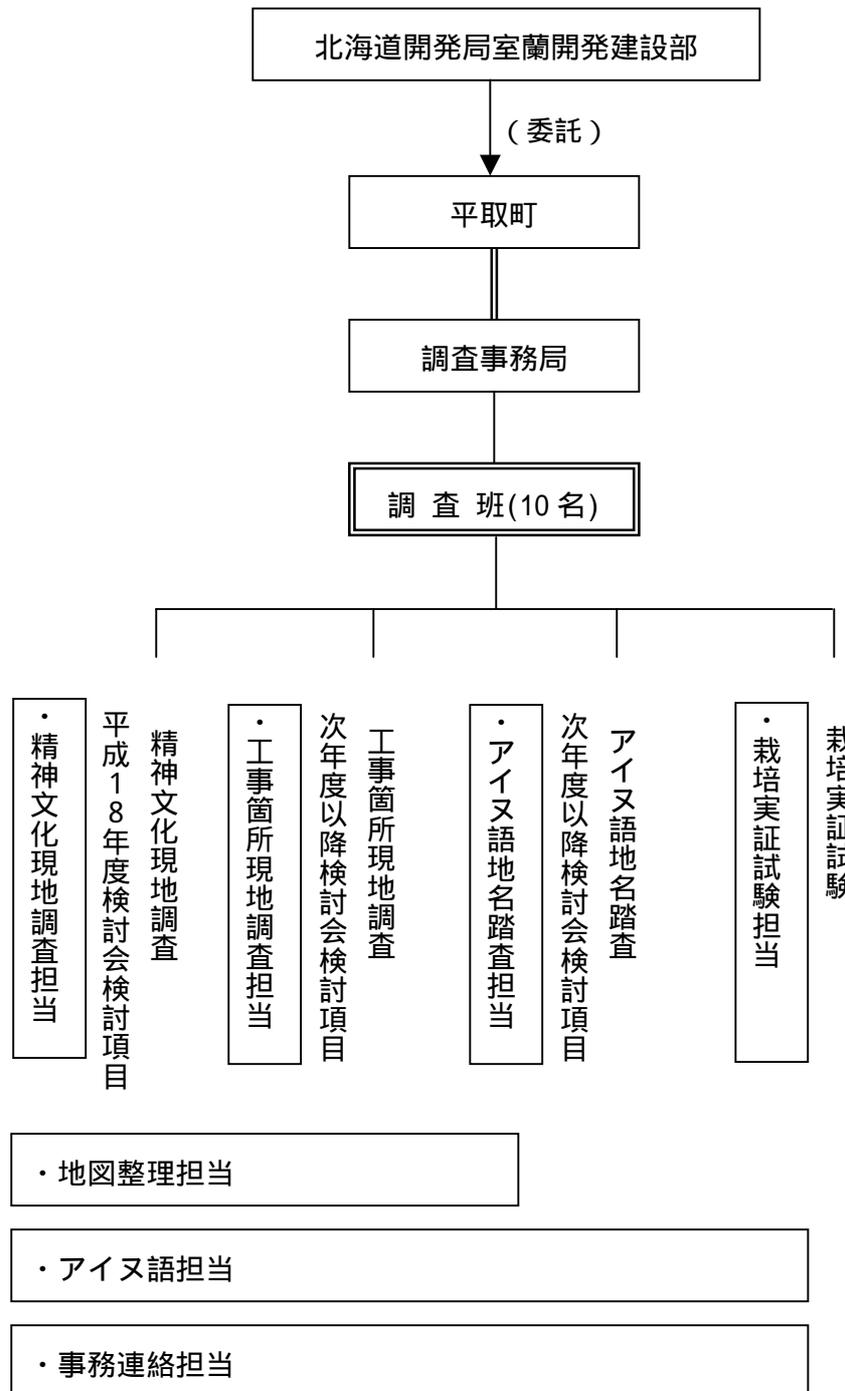


(2) 平取ダム地域文化調査業務の概況

調 査 体 制 図



調査内容

1 精神文化現地調査

1) 調査項目と進捗状況

カムイノミ箇所（湛水前＝現状）の把握	<聞き取り含む> : 終了
カムイノミ箇所（湛水前＝現状）の現地状況調査	: 調査中
カムイノミにおける儀礼行為の現状把握調査	: 調査中

2) 調査状況

現地状況調査日：2006年11月29日 / 2006年12月22日



- ・チノミシリとされる山は、額平川と宿主別川の合流点より少し上流に位置している。
- ・山は切立った崖になっており、絶壁に近い状態で、南東側斜面が崖になっている。

(カムイノミ箇所(合流点)から見たチノミシリ)

Dbさんがチノミシリ(我ら祭る所)へのカムイノミをしていた場所



(カムイノミ箇所(宿主別橋の袂)から見たチノミシリ)

Obさんがチノミシリへのカムイノミをしていた場所

Obさんが宿主別川の川下へカムイノミをしていた場所



番兵小屋があった場所

整理した調査データの入力方法（ファイルメーカー）

地図番号 No. 2	
区分	山
別々の対象(名称)	オホシシ
ローマ字表記	Ohoshi
アイヌ語の音読み	オホシシ
解説文(山名)	オホシシは、アイヌ語によって神聖な地、心の拠り所であり、アイヌ民族以外の者に触れたり、汚したり、害つけたり、地形を変えたりすることは許されないとされ、ハセオン(目の高い神への祈り)となれば、アイヌの人々にとって最も大切なものと考えられている。【遊野及・新中室(1999)321-331】
場所	早取町早生地区
時代	Obさん、1937~1998年頃 Obさん、1948年~1947年頃 野良本村の人たち、年代不明
訪れていた人	Obさん Obさん 野良本村の人たち
訪っていた場所	宿主別川と早取川の合流点 野良本村付近
関わった人	本橋ササ子さん 本村ササ子さん
特長(山名)	9歳のころ祖父Obさんに誘われて2人でオホシシを狩る所に行った。宿主別川と早取川の合流地点から見える高い山や雪の山に向かってオホシシ(オホシシ)を狩る。宿舎(オホシシ)を建ててカムイノミをした。その山がオホシシの山といふことは小さい頃からの記憶では覚えていない。祖父は30歳前後だった。(本橋ササ子さんCT20030704-001 CT29945205-001 CT20050618-001)
経緯報告書	宿舎建設予定地の場所から400mくらい上流に野良本村の男性Obさんの家系と野良本村の人たちのオホシシがある。【P439】
観光行動の状況	2005(平成17)年6月18日、ベテラコビ(早取川・宿主別川合流点)現地調査が実施され、調査の際、野良本村の早生地区の早生地区に、祖父が訪れていた場所へカムイノミを行った。【経緯報告書P439】
その他の情報	1941~1942年(11~12歳)頃、祖父(Obさん)は宿主別川の奥の小川から早取川の河口や早取川に向かってお祈りしていた。奥の林(スズラン群生地)に向かって右側には高層の小屋があり、当時はAcさんという人が高層を建て、Obさんはスズラン群生地の家から下りて、そこに一月くらい泊まって高層を、ヤマへの通手しを作っていた。(本村ササ子さんCT20040618-001)
早取ダムによる影響	カムイノミを行っていた場所は早取ダム建設によって断られ、オホシシの一部は、早取ダム建設によって覆われ、家を支える。【経緯報告書P439】

現地状況調査
調査日: 2006年11月29日/2006年12月22日

【特徴】
オホシシとされる山は、早取川と宿主別川の合流点より少し上流に位置している。
山は孤立した山になっており、眺望に絶好の状態で、南東斜面が崖になっている。

【山の状況】
山の右側部分の崖には、覆れている場所がある。
崖の頂上には細い木が生えている。
山頂付近の崖でハヤブサの高層も確認できた。

【付近の状況】
調査時には、山麓に川が流れていなかった。

現地状況調査の記録写真はこちら。

オホシシ(奥)の山はここら。

図中の のポイントを指すと、写真が見えるように今後していくように検討中。

2 工事箇所現地調査

1) 調査項目と進捗状況

付替道路工事予定箇所の植物調査（立木）：調査中

2) 調査状況

- ・ 調査箇所は、道道芽生貫気別線付替道路計画の一部区間（1,500m）
- ・ 100m区画ごとに立木名の同定、本数、樹径、用途をとりまとめている



0m 起点付近の道道芽生貫気別線



道道沿いを調査中

0m～100mポイント 樹木明細表

樹木名(アイヌ語名/和名/通称名)	本数	直径平均値	直径最小値	直径最大値	用途				
					食	薬	生活用具	信仰	その他
アユシニ/ハリギリ*/せんのみ	2	18.5	16.0	21.0					
ウトゥカンニ/ミズキ/みずき	1	22.0	22.0	22.0					
カリンパニ/ /さくら(エゾヤマザクラを含む)	2	21.0	5.5	36.5					
スス/ /やなぎ	1	56.0	56.0	56.0					
セイェカバラ/アサダ/あさだ	5	17.6	8.0	30.5					
チキサニ/ハルニレ/あかだも・にれ	6	23.3	4.0	50.0					
トゥレブニ/ヤマグワ/くわ	2	7.8	7.5	8.0					
トベニ/ /いたや・もみじ	23	15.5	2.5	55.0					
ニベジニ/オオバボダイジュ/あおじな	1	22.0	22.0	22.0					
ニベジニ/シナノキ/あかじな	2	7.0	6.0	8.0					
ネシコ/オニグルミ/くるみ	3	23.7	22.0	26.5					
ピンニ/ヤチダモ/やちだも	4	29.5	18.0	40.0					
ブンカウ/ハシドイ/どすなら	7	5.5	2.5	16.4					
ペロ/コナラ/なら・いしなら	3	35.5	20.5	48.0					
ペロ/ミズナラ/なら・みずなら	1	8.0	8.0	8.0					
ヤルベニ/カンボク/かんぼく	1	3.0	3.0	3.0					
ラスパ/ノリウツギ/さびた	3	2.3	2.0	2.5					
レタツタニ/シラカンバ/しらかば	1	17.0	17.0	17.0					

3 アイヌ語地名踏査

1) 調査項目と進捗状況

アイヌ語地名箇所踏査 : 調査中

2) 調査状況

- ・ 調査箇所は、総括報告書に記載されている 204 箇所のアイヌ語地名箇所
- ・ GPS (グローバル・ポジショニング・システム) により地図上での位置を把握する

パソコン上での表示イメージ (例)



4 栽培実証試験

1) 調査項目と進捗状況

栽培実証試験 : 調査中

2) 調査状況

- ・ 過去3年間にアイヌ文化環境調査室でアイヌ文化に有用な植物の種を採取し、調査室裏の畑で栽培実践した樹木について継続管理とデータの整理を行っている

畑の状況 木

アイヌ語	和名	種採取地	処理方法	播種年月日・数	移植年月日・数	2004年畑	2005年畑	2006年畑*	生存率
カリンパニ	エゾヤマザクラ	二風谷	そのまま	2003.7.25 686粒	2004.5.24 406本	406本	331本	298本	21.7%
カリンパニ	エゾヤマザクラ	二風谷	果肉を取り除いて	2003.7.25 686粒	2004.5.24 377本	377本	282本		
ケネ	ケヤマハンノキ	額平	そのまま	2003.6.19 不明	2004.5.24 40本	38本	16本	16本	不明
チキサニ	ハルニレ	博物館	そのまま	2003.6.19 550粒	2004.5.24 73本	89本	93本	93本	16.9%
トゥンニ	カシワ	芽生	そのまま	2003.10.8 82粒	2004.6.24 57本	40本	38本	37本	45.1%
ネシコ	オニグルミ	二風谷	そのまま	2003.10.8 77粒	2004.6.10 30本	30本	29本	23本	29.8%
ウトウカンニ	ミズキ	二風谷	果肉を取り除いて	2003.10.8 180粒				8本発芽	4.4%
クネニ	イチイ	二風谷	そのまま	2003.10.8 173粒	2005.6.22 40本			19本をポットで育苗	11.0%
ケネ	ケヤマハンノキ	額平	そのまま	2003.6.19 不明	2005.6.22 1本			1本をポットで育苗	不明
シケルベ	キハダ	芽生	果肉を取り除いて	2003.10.8 234粒	2005.6.22 8本			8本をポットで育苗	3.4%
トベニ	イタヤカエデ	芽生	そのまま	2003.10.17 180粒	2005.6.22 1本			1本をポットで育苗	0.6%
トベニ	ミツデカエデ	豊糠	そのまま	2003.10.17 180粒	2005.6.22 27本			26本をポットで育苗	14.4%
トベニ	アカイタヤ	額平	そのまま	2003.6.19 不明	2005.6.22 11本			5本をポットで育苗	不明
ブンカウ	ハシドイ	芽生	そのまま	2003.10.17 180粒	2005.6.22 33本			23本をポットで育苗	12.8%
チクベニ	イヌエンジュ	額平	そのまま	2005.11.15 184粒				苗箱 (発芽待ち)	
トベニ	アカイタヤ	額平	そのまま	2003.6.19 不明				苗箱のまま	
ブンカウ	ハシドイ	額平	そのまま	2005.11.15 370粒				苗箱 (発芽待ち)	

*2006年11月現在で、落葉しており難しく、春 葉が出てからまた確認する予定です。

栽培実証試験

畑の状況 オヒョウ

アイヌ語	和名	種採取地	処理方法	播種年月日・数	移植年月日・数	2004年畑	2005年畑	2006年畑	生存率
アツニ	オヒョウ	博物館	そのまま	2003.6.19 数不明	不明	119本	109本	194本	不明
アツニ	オヒョウ	額平	そのまま	2003.6.19 数不明	不明	137本	76本		
アツニ	オヒョウ	額平	幼木を採取		2005.6.15 14本		14本	4本	28.6%
	和名	種採取地	処理方法	播種年月日・数	移植年月日・数(発芽率)			2006年青苗の状況	生存率
アツニ	オヒョウ	博物館	冷蔵7日間冷凍7日間	2004.6.24 160粒	2005.6.28 80本 (50%)			181本ポットで育苗	
アツニ	オヒョウ	博物館	冷蔵15日間冷凍15日間	2004.7.9 160粒	2005.6.28 58本 (36%)				
アツニ	オヒョウ	額平	冷蔵7日間冷凍7日間	2004.6.24 575粒	2005.6.28 36本 (0.62%)				
アツニ	オヒョウ	額平	冷蔵15日間冷凍15日間	2004.7.9 575粒	2005.6.28 12本 (0.20%)				12.3%
アツニ	オヒョウ	博物館	冷蔵5日間冷凍5日間	2005.6.23 557粒	2006.6 184本 (33%)			184本をポットで育苗	33.0%
アツニ	オヒョウ	額平	冷蔵5日間冷凍5日間	2005.6.23 527粒	2006.6 18本 (0.34%)			18本をポットで育苗	3.40%
アツニ	オヒョウ	博物館	冷蔵5日間冷凍5日間	2005.6.23 200粒				ビニールハウス(発芽待ち)	

アツニ(オヒョウ)の発芽率試験結果

採取場所	処理方法	生存率
二風谷アイヌ博物館先で採取した種	冷蔵7日間冷凍7日間	50%
二風谷アイヌ博物館先で採取した種	冷蔵15日間冷凍15日間	36%
二風谷アイヌ博物館先で採取した種	冷蔵5日間冷凍5日間	33%
額平川上流地域で採取した種	冷蔵7日間冷凍7日間	0.62%
額平川上流地域で採取した種	冷蔵15日間冷凍15日間	0.20%
額平川上流地域で採取した種	冷蔵5日間冷凍5日間	0.34%

試験栽培地と自然環境や気候に近い二風谷アイヌ博物館で採取した種の方が、同じ条件でも発芽率がとてもよかった。



オヒョウの苗箱